

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **59123373 A**(43) Date of publication of application: **17.07.84**

(51) Int. Cl.

H04N 5/44
H04B 1/06
(21) Application number: **57230109**(22) Date of filing: **29.12.82**(71) Applicant: **SONY CORP**
 (72) Inventor: **HOSHI MAKOTO**
SEKIMOTO TETSUSHI
OSATO MAMORU
(54) **TIMER RESERVING DEVICE**

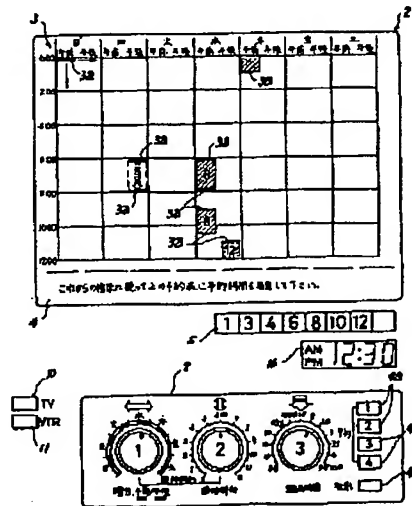
(57) Abstract:

PURPOSE: To make the confirmation and operation of timer reservation easy by moving a cursor displayed on a screen together with a time table according to the operation of a time input means and displaying the reserved time zone as a bar graph along with the time table.

CONSTITUTION: When a power supply button is turned on, contents of display appear at a lower part 4 of a CRT display section 2 together with time display. In depressing a TV button 10 in this case, the display disappears and a TV receiving picture appears on the display section 2. In turning on a video button 11, the next contents of display appear. Further, in turning on the "record" button on a panel for lighting, a picture appears on the CRT display section 2 together with the display of a channel selection button. Then, the desired object is attained by the operation according to the contents of display sequentially. In case of program reservation, the reservation button is turned on, a switch cover of a program timer reservation 8 is opened, a knob of the reservation section 8 is turned according to the timer picture recording reservation table of the

CRT display section 2 so as to match the cursor to the corresponding position for attaining the reservation.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio



⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—123373

⑬ Int. Cl.³
H 04 N 5/44
H 04 B 1/06

識別記号

庁内整理番号
D 7436—5C
7335—5K

⑭ 公開 昭和59年(1984)7月17日

発明の数 3
審査請求 未請求

(全 9 頁)

⑮ タイマー予約装置

⑯ 特 願 昭57—230109
⑰ 出 願 昭57(1982)12月29日
⑱ 発 明 者 星 寔
東京都品川区北品川 6 丁目 7 番
35号ソニー株式会社内
⑲ 発 明 者 関本哲志
東京都品川区北品川 6 丁目 7 番

35号ソニー株式会社内
⑳ 発 明 者 大里衛
東京都品川区北品川 6 丁目 7 番
35号ソニー株式会社内
㉑ 出 願 人 ソニー株式会社
東京都品川区北品川 6 丁目 7 番
35号
㉒ 代 理 人 弁理士 土屋勝 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称

タイマー予約装置

2. 特許請求の範囲

1、予約時間を設定するための時間入力手段を備えるタイマー装置と、時間表と共に画面に表示されたカーソルを上記時間入力手段の操作に従って移動させ且つこのカーソル移動によつて予約された時間帯を上記時間表に沿ったバーグラフとして表示させるための表示信号を発生する表示回路とを具備するタイマー予約装置。

2、予約時間を設定するための時間入力手段を備えるタイマー装置と、時間表と共に画面に表示されたカーソルを上記時間入力手段の操作に従って移動させ且つこのカーソル移動によつて予約された時間帯を上記時間表に沿ったバーグラフとして表示させるための表示信号を発生する表示回路と、上記タイマー装置の時間予約のための操作手順を文字で上記画面に表示させる文字表示信号発生回路とを具備するタイマー予約装置。

3、予約時間を設定するための時間入力手段を備えるタイマー装置と、時間表と共に画面に表示されたカーソルを上記時間入力手段の操作に従って移動させ且つこのカーソル移動によつて予約された時間帯を上記時間表に沿ったバーグラフとして表示させるための表示信号を発生する表示回路と、予約された時間情報を上記画面に数字で表示する時間表示信号発生回路とを具備するタイマー予約装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はタイマー予約装置に關し、特に TV プログラムの予約録画に適用して有効なものである。

背景技術とその問題点

従来、VTRなどに使われているタイマーは、鉋操作によるデジタル表示タイマーであるため、次のような種々の欠点を有する。

(1) 説明書を読んでも直ちにタイマーセットができない。

(2) 数多くの鉋操作によりタイマー時刻を設定す

るため、操作手順の間違いが起る。

(3) 機械が本当に記憶し、設定通り作動するかどうかが確認できない。

(4) デジタル表示によるため、設定時刻の確認がしづらい。特に互にオーバーラップして時間帯を予約してしまいような誤設定が生じ易い。

又、デジタル表示タイマーではなく、アナログの時計表示式タイマーもあるが、これでは数日先を設定するようなマルチプログラムタイマーとしての対応が困難である。

発明の目的

本発明はこのような従来の欠点に鑑み、タイマー予約に関し操作性の向上をはかり、予約内容を目瞭然に確認でき、誤操作の解消をはかるようにしたタイマー予約装置を提供することを目的とする。

発明の概要

本発明によるタイマー予約装置は、予約時間を設定するための時間入力手段を備えるタイマー装置と、時間表と共に画面に表示されたカーソルを

は文字スーパー（重ね表示）が現われるようになってい。例えば、第2図のように「これからの指示に従つて上の予約表に予約時間を指定して下さい。」という表示がなされている。

CRT表示部(2)の下側にはTVチャンネル(5)が必要個数配設されている。またパネル(7)上にはプログラムタイマー予約操作部(8)が配設されている。このプログラムタイマー予約操作部(8)には第2図に示す如く、予約の“曜日”、“午前／午後”、“開始時刻”、“録画時間”を夫々設定するための時間設定つまみ“1”～“3”と、複数（例えば4つ）の予約事項を指定する予約スイッチ(9a)と、予約取消(9b)とが夫々設けられている。なおプログラムタイマー予約操作部(8)には、この操作部(8)をカバーする予約スイッチ蓋（図示せず）が取付けられるようになっていて、この予約スイッチ蓋を取外すことにより、後述の如くタイマーが予約受付のためのデータ処理作業を開始されるように構成されている。

またパネル(7)上には、電源(12)及びTVとVTR

上記時間入力手段の操作に従つて移動させ且つこのカーソル移動によつて予約された時間帯を上記時間表に沿つたバーグラフとして表示させるための表示信号を発生する表示回路とを備えている。これにより操作性を良くし、誤操作を少なくすることが可能になる。

実施例

本発明の実施例につき、以下図面を用いて詳述する。

第1図は本発明によるタイマー予約装置を適用したTV／ビデオ装置の一実施例を示す概略外観図、第2図は第1図の外側主要部を平面的に配置した説明図、第3図はテレビ映像を録画する場合のフローチャート、第4図は裏番組を録画する場合のフローチャート、第5図は本発明に係るタイマー予約の場合のフローチャートである。

第1図において、テレビジョン受像機(1)のCRT表示部(2)にはたとえば第2図に示す如きタイマー録画予約表(3)が表示され、その下部(4)にはタイマー予約の操作手順などについてのテロップ或い

Rとの選択のためのTV(10)、VTR(11)が設けられ、これらの(10)の横にはVTRのための“みる”、“とる”、“裏番組”及び“予約”の各操作(13)が設けられている。更にパネル(7)には、VTR操作(14)、テープカセット挿入口(15)及び予約時刻を表示するデジタル表示部(16)が設けられている。

第1図の装置を用いて、テレビ映像を録画する場合の手順について第3図を用いて以下説明する。

まず電源(12)をオンすると、CRT表示部(2)の下部(4)に“ビデオのときはビデオボタンを押して下さい。”という表示が時間表示“1:30”と共に現われる。このときTV(10)を押すと上記表示が消え、TV受信画像が表示部(2)に現われる。TV(10)を押さなければ、上記表示は3秒間経過してから消える。

ビデオ(11)をオンすると、“みる、とる、裏番組、予約のどれですか”という表示が現われる。そこでパネル(7)上の「とる」の(13)をオンし点灯させると、“退局ボタンを押して下さい”という表示が現われると共にCRT表示部(2)に画像が現わ

れる。そして希望のTVチャンネル鈕(5)をセットすると「カセットを入れて下さい」という表示が現われる。そして、カセットが挿入され、誤消去防止爪の検出スイッチがオンとなれば「録画ボタンを押して下さい」という表示が現われる。次にVTR操作鈕(4)中の録画鈕がオンされると「録画中です」という表示がCRT表示部(2)の下部(4)に現われる。なお、誤消去防止爪検出スイッチがオンとならなければ、「カセットを取り換えて下さい。」という表示が現われる。そこで前のカセットを取り出し、新たなカセットを挿入することにより録画が開始される。なお「録画中です。」の表示は約3秒後に消される。

次に第1図の装置を用いて裏番組を録画する場合について第4図のフローチャートにより説明する。

あるチャンネルたとえば第3チャンネルの番組をみていて、裏番組を録画したい場合には、VTR鈕(4)をオンすると「みる、とる、裏番組、予約のどれですか」という表示が現われる。これによ

り操作者が「裏番組」の鈕をオンすると、「カセットを入れて下さい」という表示が現われる。そこでカセットを挿入し、誤消去防止スイッチがオンとなれば、「チャンネルボタンを押して下さい。」という表示が現われる。次にTVチャンネル鈕により、たとえば第6チャンネルを選択すると、第6チャンネル鈕が裏番組の3チャンネルに対して照度を落して点灯される。そしてVTRの録画鈕をオンにすれば「裏番組「6」チャンネル録画中です」という表示が現われる。

なお誤消去防止爪が折れていることが検出された場合は、第3図と同様である。

次にテレビ番組のプログラムタイマー予約の場合について以下第5図を参照しながら説明する。

まずVTR鈕(4)をオンすると、CRT表示部(2)のたとえば下部(4)に「みる、とる、裏番組、予約のどれですか」という表示が現われる。そこで「予約」鈕(4)をオンする。CRT表示部(2)には「予約スイッチ蓋をあけて予約します。」というテロップが流れる。プログラムタイマー予約(8)の

予約スイッチ蓋を開けると、CRT表示部(2)にタイマー録画予約表が第2図の如く表示されると共に、CRT表示部(2)の下部(4)に「つまみ①をまわして曜日と午前、午後を指定して下さい。」という表示が現われる。

そこで、プログラムタイマー予約部(8)のつまみ①(第2図参照)を回す。いま第2図の位置につまみ①をまわして曜日と午前、午後を指定すると、カーソル(3a)は日曜日の時刻0:00より右へ移動し、水曜日の午前0:00の位置にくる。CRT表示部(2)の下部(4)に「つまみ②をまわして開始時刻を指定して下さい。」という表示が現われる。そしてプログラムタイマー予約部(8)のつまみ②(第2図参照)をまわして、たとえば6:00にセットする。するとカーソル(3a)は水曜日午前0:00の位置より下へ移動して6:00の位置で止まる。次に「つまみ③をまわして、録画時間を指定して下さい。」という表示が現われる。そしてプログラムタイマー予約部(8)のつまみ③(第2図参照)を回して、たとえば2時間をセッ

トすると、カーソル(3a)の2本目が6:00の位置より8:00の位置まで、左側の(月曜日午後6:00~8:00)に示すようにして移動する。そしてCRT表示部(2)の下部(4)に「チャンネルボタンを押して下さい。」という表示が現われる。操作者がTVチャンネル鈕(5)のたとえば6チャンネルをオンすると、6:00~8:00の間に「6」が表示される。次に、CRT表示部(2)の下部(4)に予約スイッチ(4)を押して下さい。」という表示が現われる。従つて予約スイッチ(9a)のスイッチ(4)をオンすると水曜日の午前の6:00~8:00の指定部分がたとえば緑色に色分けされる。そして、「これで予約が終了したらカセットを入れて下さい。」というテロップCRT表示部(2)に流れる。録画用カセットを所定箇所に入れ、カセットイン検出スイッチがオンになると、CRT表示部(2)の予約表の下側の画面に予約スイッチ蓋をしめて下さい。」という表示が現われる。そこで予約蓋を閉めることにより予約蓋スイッチがオフになると、これによりCRT表示部(2)の下

部(4)に“あなたの録画時刻は6:00、録画時間は2時間、チャンネルは6で予約されました”という予約内容の表示が現われると共に予約内容が記憶される。この予約表と共に予約内容の表示は何秒間加した後に消える。予約者はこの表示により予約をはつきり間違いなく確認できると共に安心感を得ることができる。

なお予約スイッチ(1)を押した時点でカセットを挿入しなければ、“2つ目の予約ができます。”という表示が現われる。この場合、前述したコントロールつまみ①～③及び残りの予約スイッチ(2)を用いて、第2の予約を行うことができ、更に第3、第4の予約が可能である。

第1図のTV/ビデオ装置は、第3図～第5図の手順を実行するためのマイクロプロセッサを内蔵しており、操作パネル(7)上の操作ボタンの操作によつて前記第3図～第5図のフローを実行させることができる。特にプログラムタイマー予約に関しては、予約のための釦及びつまみの操作に従つてCRT表示部(2)上に操作手順が示され、この

指示に従い順次タイマー予約の操作が進められる。操作が全て完了すると、予約時刻などの予約内容と予約済みであることがCRT表示部(2)上に表示され、装置側から操作者(予約者)へ機械(内蔵するマイクロコンピュータ)が記憶したことを知らしめることになり、操作者は対話形式で確認ができる。なお、CRT表示部(2)上に流すテロップの指示通りの操作手順に従つて操作するわけであるが、もし操作者の操作手順に間違いがあると、その旨操作者に知らせ、正しい操作を行なわせることができる。

またプログラム予約は予約スイッチ(9a)の数だけ(第2図では4個)予約を行なうことができる。従つて数日分(1日でもよい)のタイムテーブルが、たとえば第2図のタイマー録画予約表(3)の如く一週間分のタイムテーブルがCRT表示部(2)上に表示され、タイムテーブル上のカーソル(3a)を第5図のフローチャートの指示に従つて移動させることによつて、曜日、午前、午後、予約開始時刻、予約時間、指定のチャンネル等の予約内容

が第2図の如くタイムテーブル上にアナログ的に表示される。そして予約スイッチ(9a)(1回目はスイッチ(1)が押されると、指定の部分が色分けされ、あたかも手帳の暦の中に予定を書き入れた如くプログラムタイマー予約の確認が間違いなく容易に行なえる。特に複数のプログラム時間帯がオーバーラップして予約されるような誤予約を防止することができる。なお予約時には、デジタル表示部(4)に予約時間がデジタル表示されるので、CRT表示部(2)に表示された予約表(4)のバーグラフの始端及び終端が正確に読み取れなくても、デジタル表示部(4)を見て正確に時間を設定することができる。

予約設定後には、メモリーから予約情報を読み出して表示させるページング機能により、随時に予約表と共に予約時間帯をバーグラフで表示させることができる。

第1図のプログラムタイマー予約機能付のTV/テレビ装置のデータ処理部の概略構成を第6図に示す。

このデータ処理部はCPU(10)、ROM(11)、RAM(12)から成るマイクロプロセッサを備え、既述のデータ処理手順を実行するプログラムはROM及びRAMに格納されている。第1図及び第2図に示したTVチャンネル釦(5)、予約スイッチ(9a)、TV釦(10)、VTR釦(11)、電源釦(12)、予約操作釦(13)、予約つまみ①②③、VTR操作釦(14)などは、インターフェース(15)及びバッファ(16)、データバス(17)を介してCPU(10)及びRAM(12)と結合されている。上記釦及びつまみ類の夫々を指定するアドレスはCPU(10)から発生され、アドレスバス(18)及びアドレスデコード(19)を介してインターフェース(15)に与えられる。これによつてTV、VTR及びタイマーの各部の操作データがCPU、RAMに送達される。また上記操作に応じたTVチャンネルランプや他のモニターランプ等の点灯は、CPU(10)からアドレスバス(18)、アドレスデコード(19)を介してインターフェース(15)に与えられるアドレスデータによつて制御される。

第2図に示した予約表(3)、予約時間のバーグラ

フ表示(3a)及び操作指示のための文字表示などは、TV画面領域に対応したメモリー領域を有するキャラクターRAM(4)及びグラフィックRAM(5)の内容に基いて行われる。タイマー操作に関連した入力データはインターフェース(6)からCPU(7)、RAM(4)に与えられ、これらによつて処理されてから、文字データはキャラクターRAM(4)に、図形データはグラフィックRAM(5)に夫々与えられる。RAM(4)(5)に入力データを記憶させるためのアドレスデータはCPU(7)からアドレスバス(8)及びセクタ(9)を介して与えられるが、一方、データ入力時以外はCRTコントローラ(10)からのアドレスデータがセクタ(9)を介してRAM(4)(5)に与えられ、RAM(4)(5)の内容が表示のために連続的に読出されている。

キャラクターRAM(4)の出力のASCIIコードはキャラクターROM(11)に与えられ、文字ドットパターンに変換される。キャラクターROM(11)及びグラフィックRAM(5)の出力(8ビットパラレル)はオアゲート(12)で合成され、パラレル/シ

リアル変換回路(13)に与えられる。このパラレル/シリアル変換回路(13)は、クロックジェネレータ(14)から与えられる所定周期のパルスごとに入力パラレルデータをシリアルビデオ信号に変換する。パラレル/シリアル変換回路(13)の出力は混合/切換器(15)を介してモニターTVに与えられ、第2図のような表示が行われる。

一方、TVチューナー(16)はデータバス(17)から与えられるTVチャンネル(18)の操作データに応じてセットされ、その出力のビデオ信号は復調回路(19)を介して混合/切換器(15)に導出される。また復調回路(19)のビデオ出力はVTR(20)にも与えられる。VTR(20)はデータバス(17)に結合されていて、VTR操作(21)の操作及びCPU(7)、RAM(4)から与えられるタイマー出力データに応じて制御される。VTR(20)の再生出力は混合/切換器(15)を通じてモニターTVに与えられる。

カセット爪折れ検出、カセット挿入検出、露結検出、テープエンド検出の各センサー出力はインターフェース(10)からデータバス(17)に与えられ、同

時にインターラプトコントローラ(22)からCPU(7)に割込要求がなされて、各センサー出力が随時に処理される。またタイマー動作の基準となる時間信号は時計IC(23)で発生され、データバス(17)に与えられる。時計IC(23)時間合せ入力、時間合せキーからインターフェース(10)を介して時計IC(23)に与えられる。

なお本実施例の第1図においては、CRT表示部(2)上に表示したタイマー録画予約表(3)にプログラムタイマー予約をする場合、カーソル(3a)を上下、左右に移動させるのにつまみ(回転ノブ)によつて行われるが、本発明はこれに限定されることなく押ボタン(キースイッチ)、ジョイスティック、ライトペンなどを用いてもよい。また本発明によるタイマー予約装置はVTRに組み込んでもよいし、タイマー単体として個別に製体してもよい。これらの場合、VTRやタイマーに接続されるTV受像機の画面に第2図の予約表(3)や予約時間を示すバーグラフが表示される。

発明の効果

本発明によれば、タイマー装置の時間入力手段によつて時間表と共に画面に表示されたカーソルを所望の位置に移動させて時間予約することができ、また予約時間が時間表に沿ったバーグラフの形で表示されるので、視覚的に極めて解り易い形で時間設定することができ、従つて、操作が簡単でしかも誤操作を少なくすることができる。また本発明の第2の発明によれば、上述と同じ効果を奏すると共に、タイマー予約操作の手順が文字で表示されるので、タイマーの操作を更に簡単にし、誤操作を一層少なくすることができる。更に本発明の第3の発明によれば、カーソル操作によつて予約内容がバーグラフ表示されることによりタイマー操作が簡易になる上、予約内容が数字表示されるので、バーグラフ表示が数字表示で補われ、このため予約内容の確認が容易となり、また誤設定を少なくすることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるタイマー予約装置を適用したTV/テレビ装置の一実施例を示す概略外観

図、第2図は第1図の要部平面図、第3図はテレビ映像を録画する場合の手順を示すフローチャート、第4図は裏番組を録画する場合の手順を示すフローチャート、第5図はタイマー予約の場合の手順を示すフローチャート、第6図は第1図のプログラムタイマー予約機能付のTV/テレビ装置の概略ブロック図である。

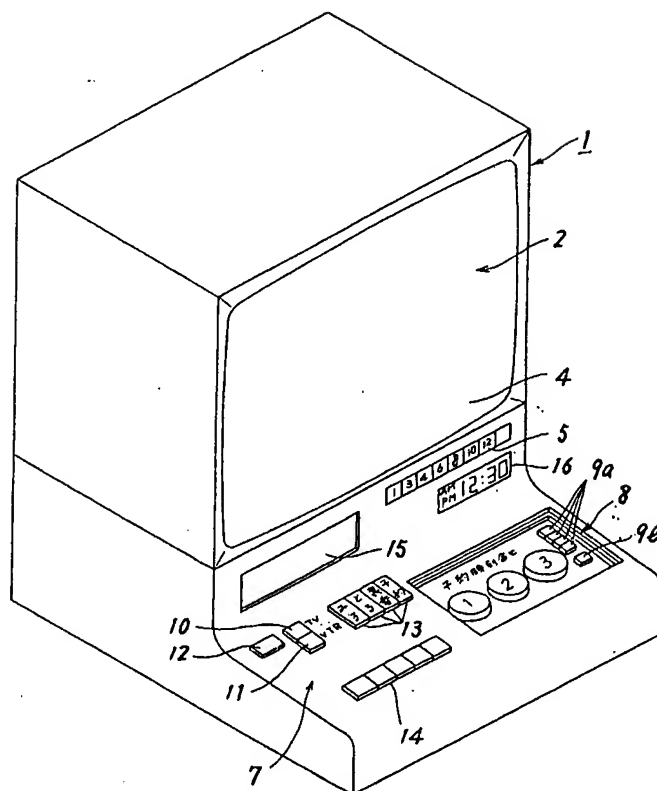
なお図面に用いられている符号において、

- (2) CRT表示部
- (3) タイマー録画予約表
- (3a) カーソル

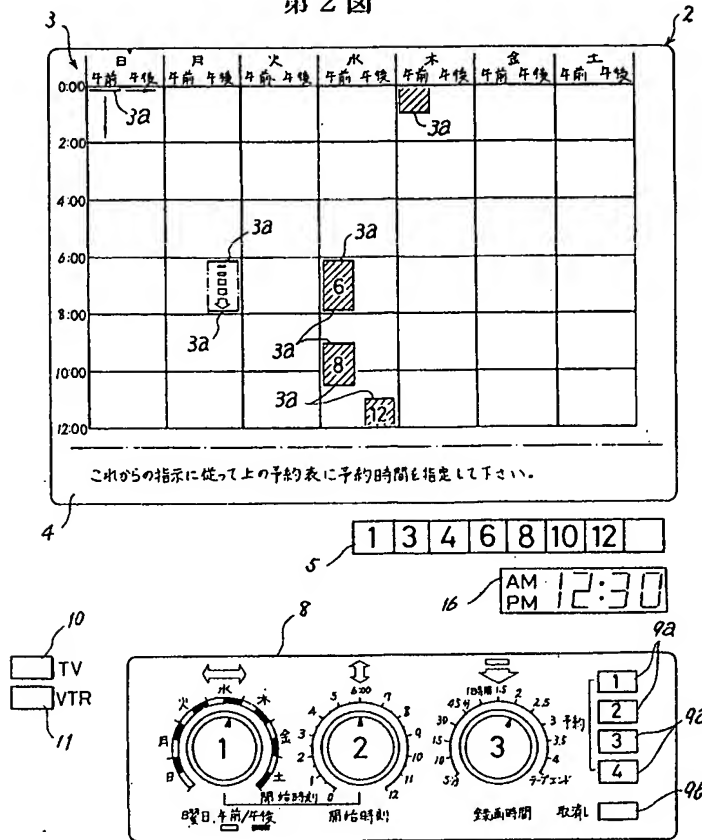
である。

代 理 人 土 屋 勝
 常 包 芳 男
 杉 浦 俊 賢

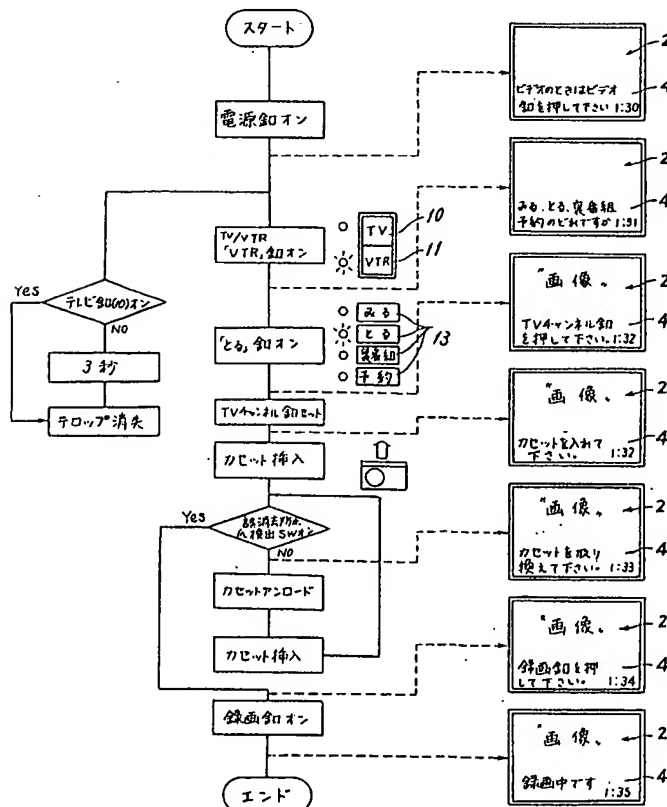
第1図



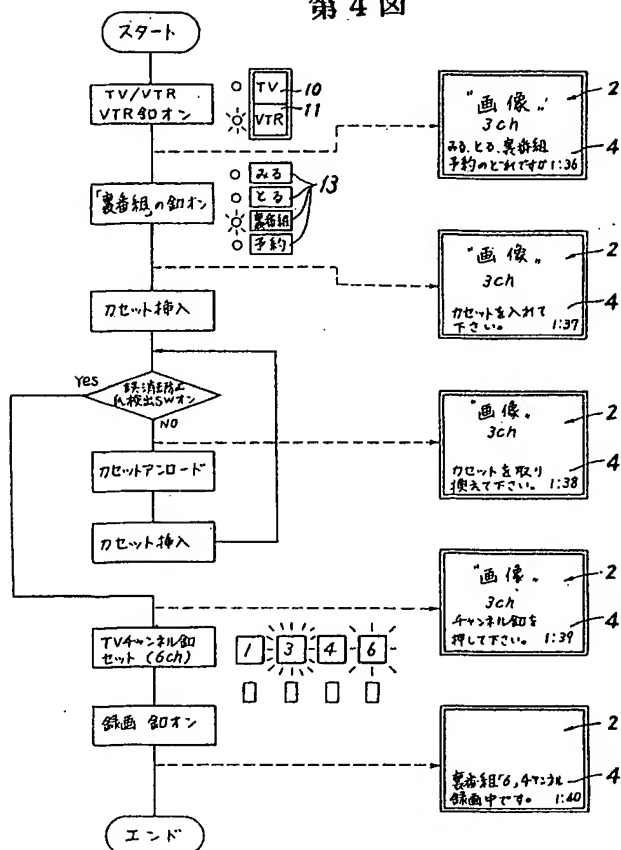
第2図



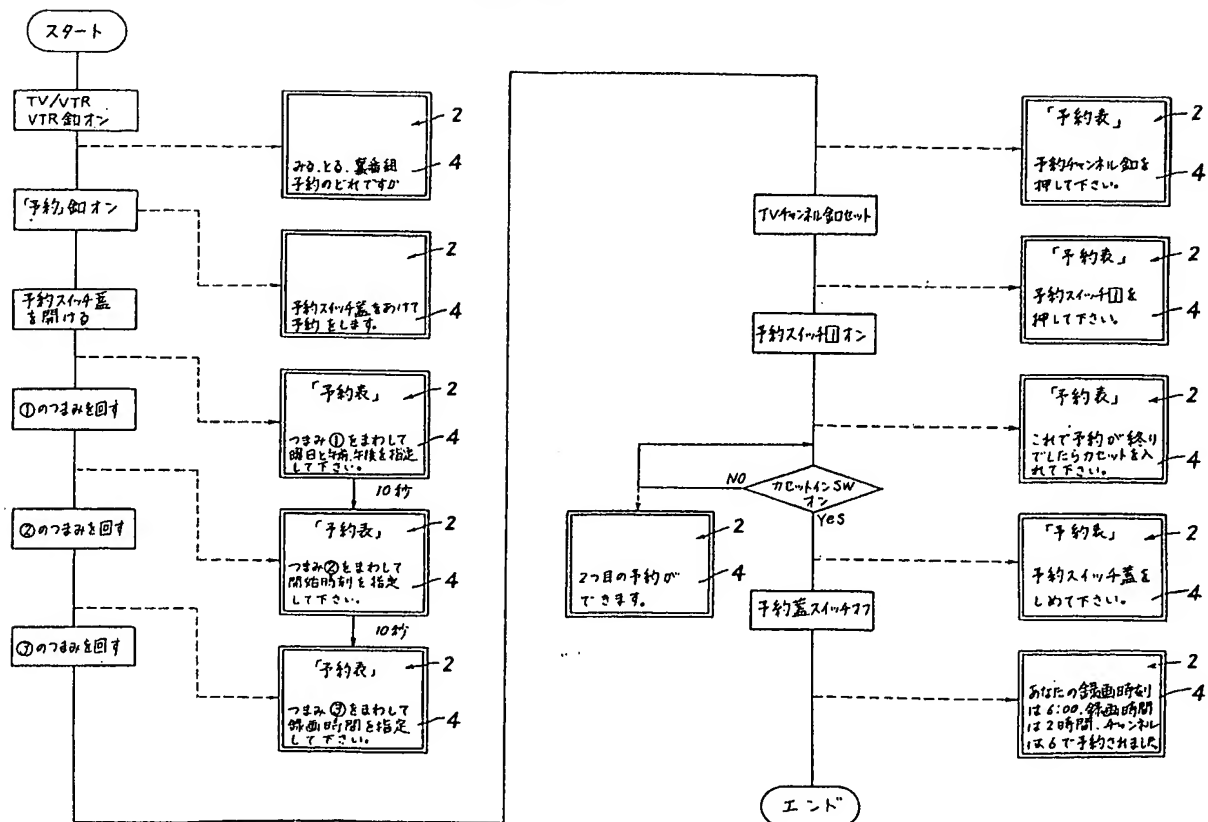
第3図



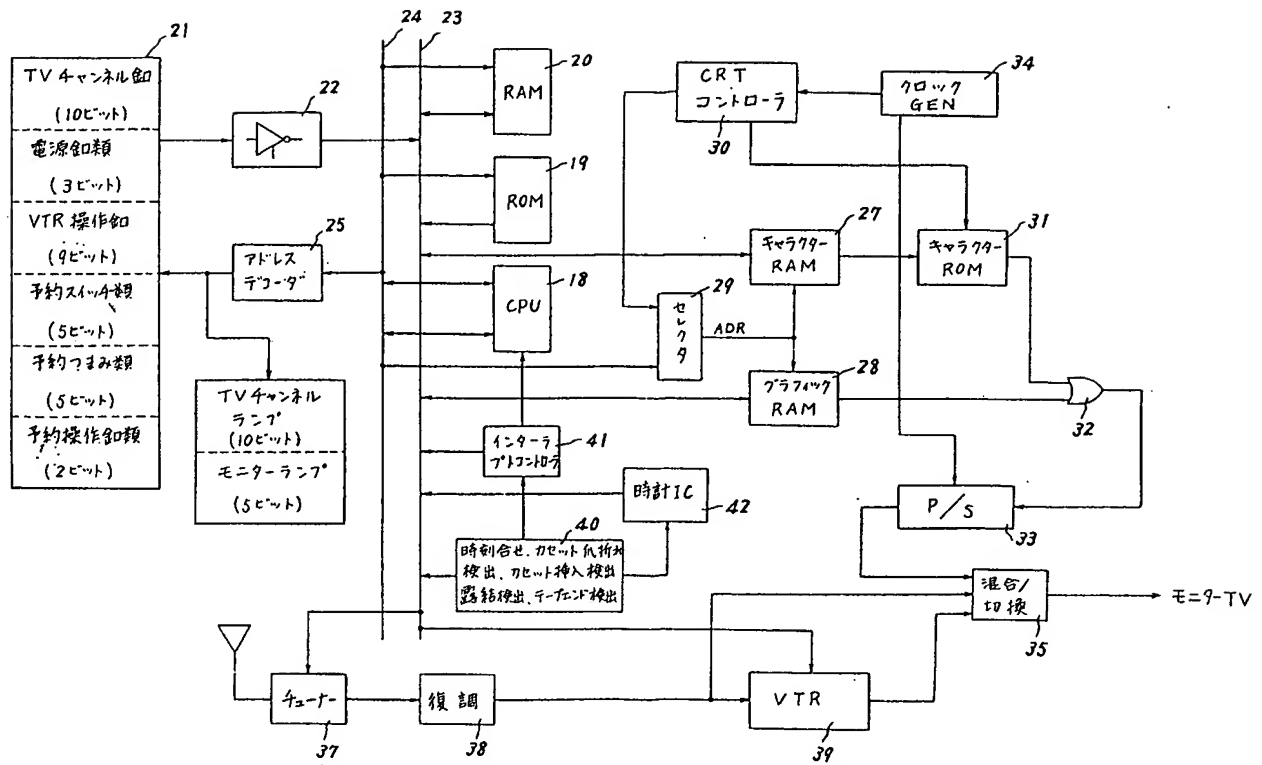
第4図



第 5 図



第6図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成9年(1997)1月17日

【公開番号】特開平1-307944

【公開日】平成1年(1989)12月12日

【年通号数】公開特許公報1-3080

【出願番号】特願昭63-138679

【国際特許分類第6版】

G11B 15/02 328

H04N 5/44

5/765

【FI】

G11B 15/02 328 S 9198-5D

H04N 5/44 D 7436-5C

5/91 L 4227-5C

5/782 K 7734-5C

手続補正書

(2,700円)

平成 8年 1月 8日

特許庁長官 前川 佑二 様

1. 事件の表示

昭和63年特許願第138679号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

生 所 オランダ国 1071 ディー・ジェイ
アムステルダム ミュゼウム・プレイシ 11
名 称 レーム・プロパティス・ビー・ヴィー
代 表 者 ティン・グレン・リン
国 籍 オランダ国

3. 代理人

〒460
住 所 名古屋市中区錦二丁目9番27号
名古屋経済ビル
氏 名 (8260) 井理士 足立 勉
電話 052-231-7835 FAX 052-231-0515

4. 補正命令の日付 日付

5. 補正により増加する請求項の数 1

6. 補正の対象

明細書の「発明の名称」、「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」及び「図面の簡単な説明」の欄。

7. 補正の内容

(1) 発明の名称を「放送内容受信装置」と補正する。

(2) 特許請求の範囲を別紙1の通り補正する。

(3) 明細書の第2頁第5行～同頁第7行に「ビデオ録画……ている。」とあるを、以下のように補正する。

「見たいと思っていたテレビの放送内容を、うっかり見損ねてしまうという失敗は、テレビが登場して久しい今日においてもよくあることである。この失敗は、放送日時を間違えたり、他のことに気を取られて忘れてしまう等が主な原因である。

これに対する有効な方法として、見たい放送内容を予め、ビデオ録画装置(いわゆるビデオテープレコーダ)に予約しておくという方法がある。しかし」

(4) 明細書の第3頁第8行～同頁第9行に「録画予約の簡略化を図る」とあるを、「見たいテレビ番組を見逃すことがなく、しかも容易に操作可能な放送内容受信装置を提供する」と補正する。

(5) 明細書の第3頁下から第7行～第4頁第8行に「録画……RS」とあるを、以下のように補正する。

「放送内容受信装置は、

受信された、複数のテレビの放送内容から、所望の放送内容を抽出するチューナと、該チューナにより抽出された放送内容の映像信号を表示するテレビ受像機とを備えた放送内容受信装置において、

少なくともテレビ放送の内容と放映時間とを含む情報を外部から当該放送内容受信装置に取り込む入力手段と、

該入力手段により取り込まれた上記情報を一時的に格納する格納手段と、

該格納された上記情報を読み出して上記テレビ受像機に表形式で表示させる表示制御手段と、

該表示された上記情報から所望の放送内容を選択する選択手段と、

該選択された放送内容の放映時間になると、その放送内容を上記チューナに抽出させる放送内容出力手段と」

(6) 明細書の第4頁第11行～第5頁第9行に「録画……実行する。」とあるを、以下のように補正する。

「放送内容受信装置は、以下のようにして所望の放送内容を放映時間に受信する。まず外部より入力手段を介して、少なくともテレビ放送の内容と放映時間とを含む情報を、当該放送内容受信装置に取り込む。こうして取り込まれた情報は、格納手段に一時的に格納される。次に表示制御手段が、格納手段から情報を読み出して、テレビ受像機に表形式で表示させる。従って、新聞や専門誌に掲載されるテレビ放送の番組表と同様の形式で、放送の内容と放映時間とを確認することができる。この状態で、選択手段、例えばカーソルの移動とこれに伴う表示の点滅や反転表示等により情報を選択する。そして放送内容出力手段が、選択された放送内容の放映時間になると、その放送内容を上記チューナに抽出させる。

つまり、表示制御手段にてテレビ受像機に表形式で表示された放送の内容から選択手段を用いて所望の内容を予め選択しておけば、その放送内容が放送される時間になると、自動的にその放送内容がチューナによって選局される。よって、選局された放送内容の映像信号が所望の画像出力装置（例えば、上記のテレビ受像機）に表示されるようにしておけば、所望の放送内容を見逃すのを防止できる。」

（７）明細書の第５頁下から第９頁～同頁下から第７行に「録画予約……としての」とあるを、以下のように補正する。

「放送内容受信装置の一実施例として、録画予約制御装置に適用した例について説明する。まず、第１図は録画予約制御装置の基本的構成を、更に簡略化して例示したブロック図である。本図に示すように録画予約制御装置は、記憶手段と、表示制御手段と、選択手段と、録画設定手段と、録画予約手段とを主に構成されている。記憶手段は、テレビ放送の内容とその内容の放送開始・終了時刻が、１週間から４週間程度に亘り格納されたものとなっている。表示制御手段は、記憶手段に記憶された情報をテレビ受像機に表形式で表示させるためのものであり、選択手段は、この表示された情報から所望の放送内容を選択するためのものである。こうして選択された情報に従い録画設定手段が、録画予約手段にその放映時間をビデオ録画装置に設定する。第２図は、実際の録画予約制御装置を示すもので、」

（８）明細書の第１０頁第５行に「される。」とあるを、以下のように補正する。

「される。つまり、接続部１０、及び接続部１０から番組データを取り込む処理を行なうＣＰＵ５１は、これらの外部にあるＲＯＭ３２からコネクタ３０等を介して放送内容に関する情報を取り込むので、本発明の入力手段に相当する。そして、ＲＡＭ５３が本発明の格納手段に相当し、Ｓ１２０の処理が本発明の表示制御手段としての処理に相当する。」

（９）明細書の第１２頁第１行に「になる。」とあるを、「になる。つまり、カーソルキー２１及び「設定」キー１１が本発明の選択手段に相当する。」と補正する。

（１０）明細書の第１６頁第７行～同頁第８行に「録画を開始……終了する。」とあるを、以下のように補正する。

「記憶されたチャンネルを、チューナ６０にて受信・復調して出力し、録画再生部６５は録画を開始し、終了時刻がくると録画を終了する。つまりこの部分の処理は、本発明の放送内容出力手段に相当する処理に、録画再生部６５を制御する処理を加えた処理となっている。」

（１１）明細書の第１８頁第５行～同頁第９行に「録画予約……ことが」とあるを、以下のように補正する。

「放送内容受信装置によれば、所望の放送内容が放送時刻になると受信されるので、こうして受信された放送内容の映像信号を、所定の画像出力装置（例えばテレビ受像機）に表示されるようにしておくだけで、所望の放送内容を見ることができ、見逃すことがない。また画像出力装置ではなく、ビデオ録画装置に対して映像信号を出力し、これを録画させるようにすれば、録画予約を行なうこともできる。これら何れに対して映像信号を出力する場合にも、所望の番組の指定を、テレビ受像機に表形式で表示される番組の内容を見ながら選択すれば良いので、操作が極めて簡単に」

（１２）明細書の第１８頁第１行～同頁第１２行に「本発明の……としての」とあるを、「本発明の一実施例である録画予約制御装置の基本的構成を例示するブロック図、第２図は」と補正する。

以上

別紙 １

２ 特許請求の範囲

１ 受信された、テレビの放送内容から、所望の放送内容を抽出するチューナと、該チューナにより抽出された放送内容の映像信号を表示するテレビ受像機とを備えた放送内容受信装置において、

少なくともテレビ放送の内容と放映時間とを含む情報を外部から当該放送内容受信装置に取り込む入力手段と、

該入力手段により取り込まれた上記情報を一時的に格納する格納手段と、

該格納された上記情報を上記テレビ受像機に出力し、該テレビ受像機に表形式で表示させる表示制御手段と、

該表示された上記情報から所望の放送内容を選択する選択手段と、

該選択された上記情報に従って、放送内容の放映時間になると、その放送内容を上記チューナに抽出させる放送内容出力手段と

を備えたことを特徴とする放送内容受信装置。

２ 上記放送内容出力手段によって、上記放映時間によりチューナが抽出した放送内容を、録画するためのビデオ録画装置を備えたことを特徴とする特許請求の範囲第１項記載の放送内容受信装置。